

# 22春闘協議内容

22春闘会社側の回答は、2024年度人事賃金制度を利用した実質ベア0、夏季手当2.15カ月。これまでの主な協議内容。

## ◎ベア3000円、夏季手当2.15カ月回答について

組合)これまでコロナ禍の中でも、期末手当の低回答や効率化にも耐え業務を行ってきた社員への報い、また物価高による生活は苦しい状況。政府も物価高を超える賃上げをと訴えている。また、お客さまの利用も明らかに増えている。離職者も 増え続ける状況で、人への投資を真剣に考えなければならない状況でベア3,000円、夏季手当2.15カ月分の回答は納得できない。

会社)これまでの社員の努力には感謝する。また、物価高による社員の生活にも影響があるのは理解するものの、会社側としても燃料費等経費がこれまでより高くなり厳しい状況である。また、マスコミなどで他企業のベア回答が出されているが、コロナの被害はそれぞれで、JR九州としては厳しい状況で3,000円の回答は思い切った決断であった。

## ◎2024年度実施予定の人事賃金制度改正における基本給引上げの一部の先行実施について

組合)これまで、春闘と、人事賃金制度は別とし協議を行ってきた中で、今回の回答は、まやかしでしかない。先行実施するのであれば、今回のベアとは別に回答すべきだ。

会社)訴えは理解するが、会社としては、ベア3,000円、人事賃金制度改正の基本給一部の実行実施としたい。

組合)2024年度の人事賃金制度の詳細すら提案されてなく、集約していない状況での先行実施ということ事態おかしい。

会社)詳細はまだ提案されていないが、会社としても来年度の基本給の引き上げは思い切った決断である。

**やはり、まやかしの賃金回答であった！！**